

ASIO 4 ALLを使用するための環境設定

【Windows XPで設定をおこなう 例：foobar2000使用の場合】

あらかじめ、下記のアプリケーションをご準備(ダウンロード)ください。

- foobar2000 v1.1.11
(<http://www.foobar2000.org/download>)
- foo_out_asio.dll
(<http://www.foobar2000.org/components>)
- ASIO4ALL_2_10_English.exe
(<http://www.asio4all.com>)

1 OSエラー音の設定

通常の設定では、すべての音が伝送されます。エラー音をパソコン内蔵スピーカーで再生させ、音楽だけを転送させる設定をおこないます。

1. 【スタート】→【コントロールパネル】の【サウンドとオーディオデバイス】をダブルクリックします。



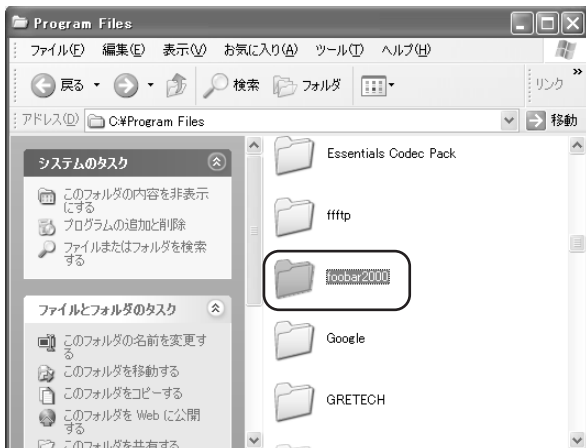
2. 【オーディオ】タブで既定デバイスをパソコン内蔵スピーカーに変更します。



2 foobar2000にASIO出力を追加する

foobar2000でASIO出力ができるようにプラグイン設定をおこないます。
※あらかじめダウンロードした“foo_out_asio”のzipファイルは展開(解凍)しておいてください。

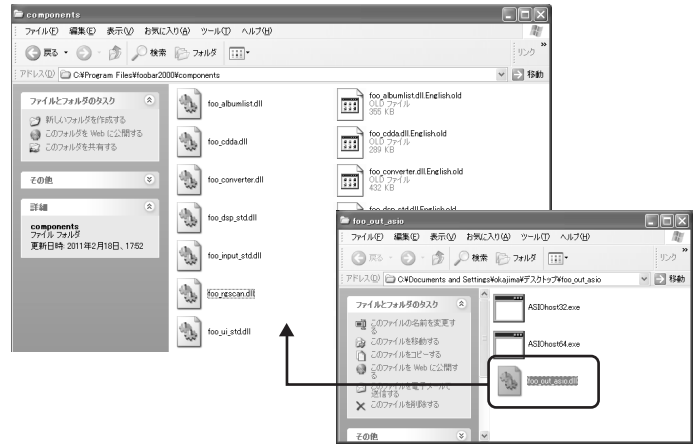
1. 【スタート】→【マイコンピュータ】→【ローカルディスクC】から【Program Files】をダブルクリックし【foobar2000】を開きます。



2. 【foobar2000】のcomponentsをダブルクリックして開きます。



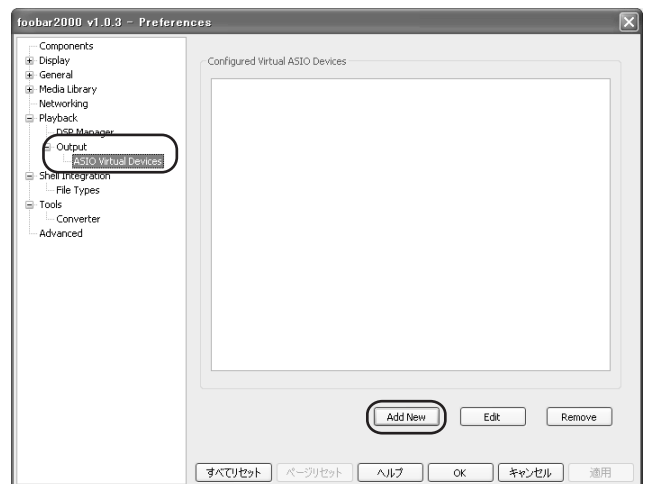
3. あらかじめダウンロードしておいた“foo_out_asio”内の“foo_out_asio.dll”をcomponents内に格納し、フォルダを閉じます。



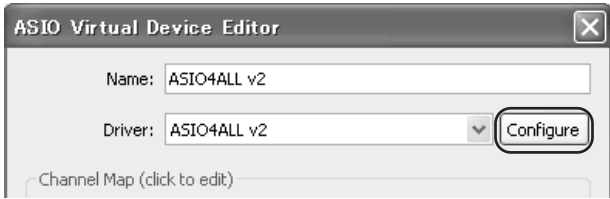
3 ASIO4ALLの出力設定

ASIO未対応のUSBオーディオデバイスを、擬似的に出力するための設定をおこないます。
※あらかじめダウンロードした“ASIO4ALL_2_10_English.exe”をインストールしておいてください。

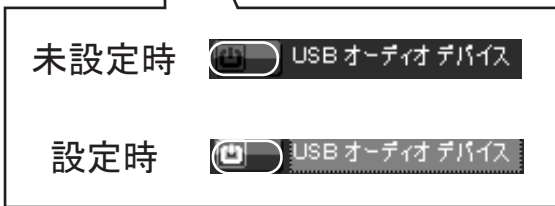
1. Foobar2000を開き、【File】→【Preferences】→【Playback】→【Output】→【ASIO Virtual Devices】を選択し、【Add New】をクリックします。



2. 【ASIO Virtual Devices Editor】の【Configure】をクリックします。



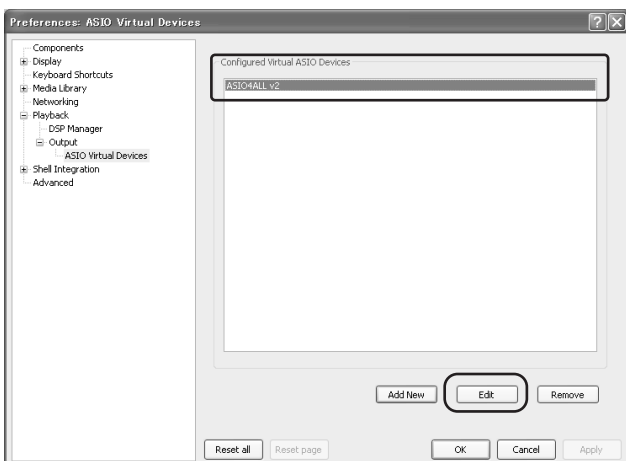
3. ASIO 4 ALLの設定画面が表示されます。WDM Device Listから“USB オーディオデバイス”を選択した後、画面を閉じます。



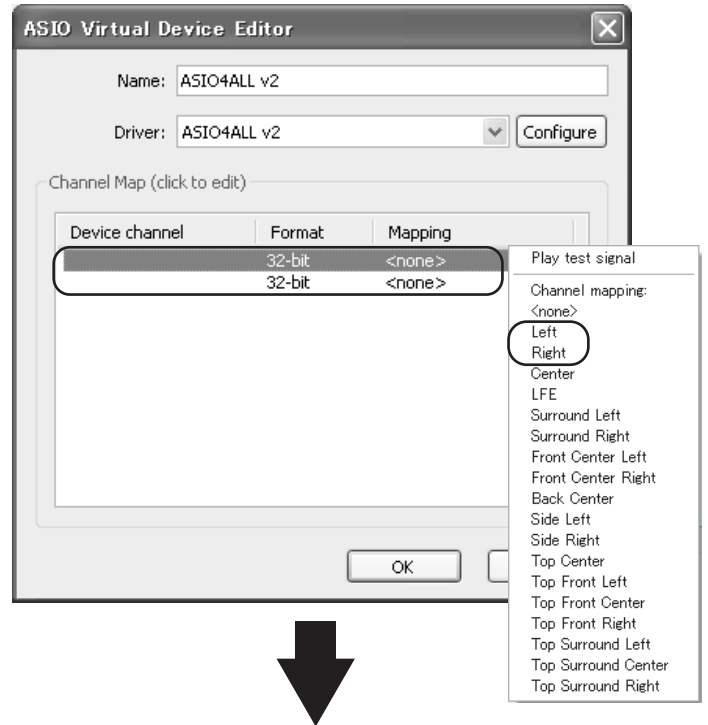
4. 【ASIO Virtual Devices Editor】の【OK】をクリックします。



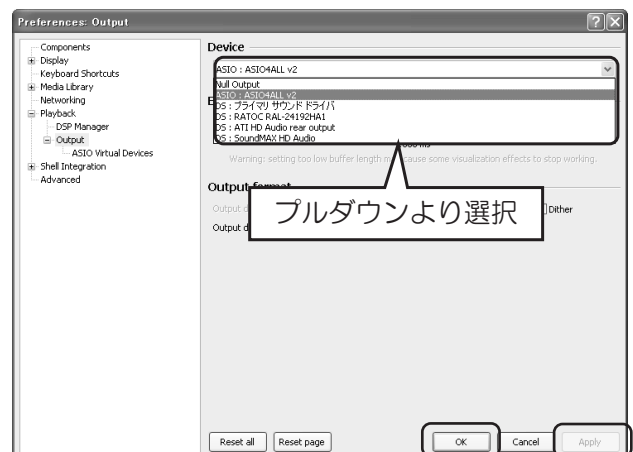
5. Configured Virtual ASIO DevicesのASIO4ALL v2を選択し、【Edit】をクリックします。



6. Channel MapにてMappingをクリックし、LeftとRightをプルダウンより設定後、【OK】をクリックします。



7. 【out put】の出カデバイスから“ASIO:ASIO4ALL v2”を選択し、【Apply】→【OK】をクリックします。



以上で設定は完了です。